

地域みっちゃく生活情報誌
【こじんと】2019年11月号に
特集記事が掲載されました！



エコチル調査は2011年から環境省が中心になって行っている「子どもの健康と環境に関する全国調査」です。赤ちゃんがお母さんのお腹にいるときから13歳になるまでの健康

全国で10万組が参加する
大規模な疫学追跡調査



巻頭特集

南国・香南・香美から 未来につながる エコチル調査

環境要因が子どもたちに与える影響を調査
調査の目的を高知大学医学部長でエコチル調査高知ユニットセンターの菅沼成文センター長に伺いました。
「中心的なテーマになっているのは環境因子です。環境中にあるとされる化学物質のうち、最も重要なものがダイオキシン、そして鉛です。昭和40年

日本全国の親子10万組を対象に行われているエコチル調査。エコチルとはエコロジーとチルドレンを組み合わせた言葉で、新聞などで目にしたことがある人も多いのではないのでしょうか。開始から8年が経過した今、興味ある論文や集計データが公表されています。



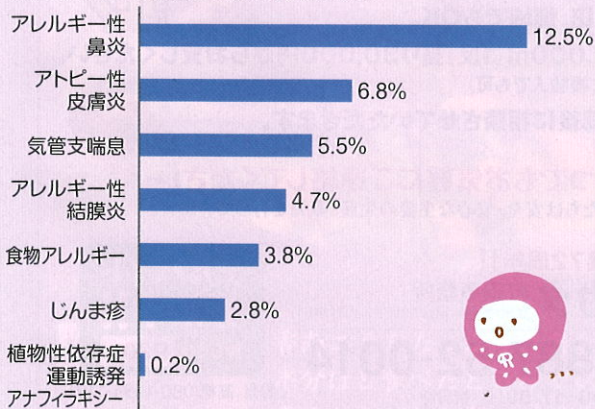
高知大学医学部長
エコチル調査高知ユニットセンター長
菅沼成文教授
「調査の結果は環境政策につなげる資料になり、未来の子どもたちが安全に健やかに育っていく環境を作るために使われます」

高知の3歳と
3歳6カ月の質問票から、
いくつかの集計をご紹介します。

代の初めころは公害が大きな社会問題になっていきましたが、現在はかなり低い濃度の値になっています。しかしこの値でも体に影響はあるのか、あるいは食べ物が影響していることはいないか。お母さんの血液の中の環境物質の値はどのくらいで、臍帯血はどんな状況になっているのか。また、お子さんたちの病気の頻度に影響を与えることはあるのか。そういうことを明らかにしていくのがこの研究の一番の目的です」
エコチル調査で行われている10万人という規模も病気の頻度を調べるときにとっても意味のある数で、「10万人の中に病気がかかっている人が何人いるか」というのが重要な単位になる」と菅沼センター長は話します。

■ 医師から診断された疾患 (免疫系) 回答数: 2849件

※注意: この結果は2019年9月30日時点のこちらの回答に基づく暫定的な結果です。



6歳児の12.5%にアレルギー性鼻炎、6.8%にアトピー性皮膚炎がみられました。

■ 育児や家事の分担 回答数: 1598件

※注意: この結果は2016年5月31日時点のこちらの回答に基づく暫定的な結果です。

★お母さん				項目 ※単位は%	★お父さん				
いつもする	時々する	ほとんどしない	まったくしない		いつもする	時々する	ほとんどしない	まったくしない	
69	24	6	1	育児	食事の手助け	22	50	21	7
62	31	5	2		一緒に入浴	35	51	9	4
81	16	2	1		排泄の後始末	21	53	17	9
66	28	6	1		衣服の着脱を手伝う	19	57	18	6
62	35	2	1		遊び相手をする	43	50	5	2
91	7	1	1	家事	食事をつくる	8	28	27	37
86	11	2	1		食事の後片付けをする	17	37	23	22
83	15	1	1		部屋など掃除をする	9	41	25	25
88	8	2	1		洗濯をする	16	28	20	36
42	25	23	11		ごみを出す	54	21	10	14
90	8	1	1		日常の買い物をする	11	43	23	23

お家での育児や家事の分担についてお聞きしたお答えの集計結果です。家事はいつもされているお母さんの割合がとても高いのですが、育児は分担しているご家庭も多いようです。入浴、遊び相手などはお父さんの参加が特に高く、家事ではごみ出しを「いつもする」と「時々する」を合わせると75%のお父さんがされています。食事作りは主にお母さんの役目のお家が多いようです。

学童期検査

小学2年生を対象にした身体測定や発達検査

**学童期検査に参加されたママに
お話を伺いました**



武内さん親子

事務局から様々な質問が記載された用紙が定期的に送られてくるのですが、それに記入することで普段はあまり気に掛けない子どもの成長度合いを意識するきっかけになりました。

子どもの成長度合いを意識するきっかけに



森田さん親子

子どもがアトピーなので何年後かにエコチル調査からアレルギーの予防ができる検査結果が出ればうれしいですね。映画鑑賞やコンサートなど参加者向けのイベントがあるみたいなのでぜひ参加してみたい。

エコチル調査からアレルギーの予防ができる検査結果を望みます！



濱田さん親子

子どもの体が今のような状態なのか気になっていたので、学童期検査に参加しました。小学生ではあまりしない血液検査があって、しかも検査結果を報告してくれるのもありがたいですね。

小学生ではあまりしない血液検査も！

学童期検査ではパソコンを使った精神神経発達検査も行われました



学童期検査の様子。お母さんにとっては子どもの健康・発達状態を知る良いきっかけに

**エコチル調査だから
できることもいろいろ**

参加者に行われている調査の主な内容は、年に2回自宅に送られてくる調査票への記入です。子どもの生活習慣や発達の具合、食や環境など多岐にわたって細かい質問が行われます。また、より詳しいデータを集めるために全体の5%

の人に詳細調査が行われている。医学的検査や精神神経発達検査などが2年ごとに調べられています。

高知大学医学部の臨床心理士で環境医学教室特任研究員の小森香さんは、この詳細調査で2歳と4歳になる子どもが発達検査を行っている。今後も検査は続く予定だそうです。「エコチル調査では健康なお子さんをたくさん検査させていただくので、普段病院などで出会うお子さんの問題がよりわかりやすくなりました。また、西日本と東日本では発達検査が違うことが多いのですが、このエコチル調査で全国の子ともさんをつなぐ一つの発達検査で調べることができたことは大きいと思います」と話してくれました。

**今年で8年目を迎えて
調査結果が少しずつ明らかに**

調査が始まって8年目を迎え、気になるのは調査結果からどんなことが分かってきたか、ということ。現在は3歳くらいまでの調査結果が出て

いる一方で、研究者による分析が行われています。「高知大学医学部では、妊婦さんの産後うつと出産前の婦人科系の疾患が関係しているのではないかとことや、つわりの強い人ほど早産のリスクが低くなっていることなど、日本だけでなく世界に向けて学術論文を発表しています」と菅沼センター長。また集計データからは子育て世代にとって興味のある、

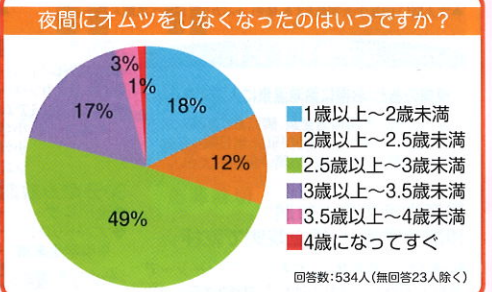
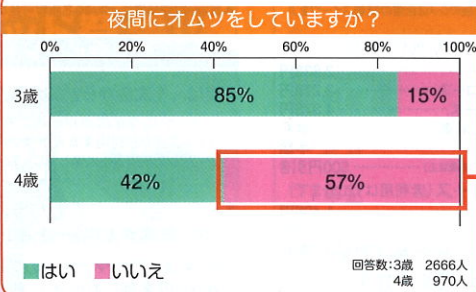


家庭での育児や家事の分担、お子さんのトイレトレーニングや気になるアレルギーに関するなどが公表されている。こうちエコチル調査や環境省のホームページで閲覧することができます。

「お子さんたちは学童期を迎え、調査の上でも重要な時期です。調査に参加の皆さんが引き続き協力下さることで病気に関することも少しずつ明らかになってくると期待されます」。未来の子ともたちがよりよい環境で暮らしていくために行われているエコチル調査。これからも調査の行方に興味を持ち続けていくことが大切なのだと感じました。

トイレトレーニングについて

※注意：この結果は2016年5月31日時点のこごちの回答に基づく暫定的結果です。



お問い合わせ

- エコチル調査コールセンター(全国共通) TEL 0120-53-5252 年中無休 9:00-22:00
- エコチル調査ホームページ http://www.env.go.jp/chemi/ceh/
- こうちエコチル調査に関するお問い合わせ(高知県) TEL 088-880-2173 土・日・祝日をのぞく 9:00-17:00 mail info@kochi-ecochil.jp
- エコチル調査ホームページ http://kochi-ecochil.jp/

高知大学は、平成22年4月12日、環境省の進める「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」のユニットセンターに認定されました。

高知大学医学部内 エコチル調査 高知ユニットセンター事務局 〒783-8505 南国市岡豊町小瀬 高知大学内 朝倉分室 〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1

